

**公益財団法人盛岡観光コンベンション協会**

**令和4年度事業評価書**

(令和2年度～令和6年度)

令和5年7月

## 事業運営計画事業一覧

### 【観光振興事業（公益目的事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値							
(1) 広報宣伝事業  重点施策【A・B・C】	ホームページや全国紙，地方紙，ネット広告，空路・鉄道の各ターミナル地域の露出とし，県外客誘客を図る。  ホームページは，閲覧者数が頭打ちのため，英語での運用及び利用者の多いスマートフォン向け表示機能も追加し訪問者数増を図る。	観光イベント等情報の新聞やネット広告掲載及びホームページを活用し情報発信する事業。 指標：①新聞掲載回数（当協会内事務局含） ②協会ホームページ訪問回数(hellomorioka)							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (回)	5	2	0	1			10
		指標② (回)	158,774	111,795	88,051	105,379			212,000
(2) 観光案内事業  重点施策【A】	観光客に盛岡市民が盛岡のまち並みや見どころを丁寧に案内し，盛岡の魅力を楽しんでいただくことにより，触れ合いを伴う印象的な観光振興を実現する。	市民観光ボランティアガイドが盛岡の魅力を組み込んだ「啄木・賢治青春の道」「先人と町家の道」ほかのコースにより，徒歩観光を楽しんでもらう事業。 指標：①ふるさとガイドによる案内客数 ②岩山展望デッキ等利用者数							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (人)	2,107	334	344	498			2,500
		指標② (人)	43,325	42,483	29,582	25,701			45,000
(3) 観光客誘致促進事業  重点施策【A・B・C】	盛岡及び盛岡広域圏へ国内外の観光客や修学旅行生などの誘致を図る。	誘致キャンペーンへの出展，ルートセールスによるPR・誘客活動及び各種イベント実施団体に対する支援を行い集客を図る事業。 指標：①国内外観光客及び教育旅行誘致活動回数							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (回)	3	1	3	6			5

(4) まつり行事 振興事業  重点施策 【A】	盛岡さんさ踊り振興協議会や山車運行委員会等の事務局として、伝統文化イベントやまつり行事に参画するとともに、その他の同様な行事支援育成及び県内外へのPRにより観光振興を図る。	各種まつり、伝統行事への支援、助成及び告知宣伝を行う事業。 指標：①支援・助成したまつり行事数（負担金・助成金交付） ②さんさ団体派遣回数 ③盛岡山車参加者数 ※R2～R4 山車運行はコロナの影響により中止							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (回)	13	2	8	14			13
		指標② (回)	26	162	180	255			30
	指標③ (人)	652	—	—	—			700	
(5) フィルム コミッション事業  重点施策 【A】	盛岡広域の観光資源を地元ブランドとして、テレビ、映画等の映像を通じて全国にPRし、誘客を図り観光振興につなげる。	映像制作関係者にロケ適地を紹介するほか、ロケ隊の現地案内、撮影許可支援等を行うことによりテレビ・映画等のロケを誘致する事業。 指標：①ロケ全支援数 ②ロケ支援数 (①のうち映画・テレビ)							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (件)	61	50	33	33			70
	指標② (件)	42	25	18	22			40	
(6) 玉山地域 観光振興事業  重点施策 【A】	玉山地域の観光資源について、広く周知し興味をもっていただくことにより誘客を図り観光振興につなげる。	1. 啄木学級文の京(ふみのみやこ)講座 石川啄木終焉の地である東京都文京区において、啄木に造詣の深いゲストを招いての講演会を行うとともに盛岡市の特産品の紹介、販売、観光情報を提供するなど首都圏の住民に盛岡のPRを行う事業。 ※R2 文の京講座はコロナの影響により中止 2. 啄木学級故郷(ふるさと)講座 石川啄木記念館敷地内にある旧渋民尋常小学校において、盛岡広域の住民を対象として啄木に造詣の深いゲストを招いての講演会を行う事業。 ※R3～R4 故郷講座はコロナの影響により中止 3. 姫神山やま開き 姫神山登山口において登山の安全祈願後、一斉登山を行い、優れた景観と自然環境をPRしながら観光振興に結びつける事業。 指標：①啄木学級文の京講座参加者数 ②啄木学級故郷講座参加者数 ③姫神山やま開き参加者数							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (人)	333	—	76	106			350
		指標② (人)	31	21	—	—			35
	指標③ (人)	1,200	8	13	130			1,200	

(7) 観光客受入体制整備事業	JNTO 認定カテゴリ2の外国人案内所として、盛岡駅を利用する国内外の観光客や学会等で来県する人々に、県内と周辺広域圏の観光地・各種イベント情報を提供し、おもてなしの充実を図る。	盛岡駅構内南口の「いわて・盛岡広域観光センター」において、観光案内や観光パンフレットの提供及び宿泊施設の紹介等を行い、来盛者の利便に供する事業。 指標：①いわて・盛岡広域センター対応者数							
重点施策【A・B・C】			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (人)	37,645	12,891	15,130	30,655			45,000

### 【MICE 振興事業 (公益目的事業)】

事業名	目的	事業内容及び目標値								
(8) MICE 誘致支援事業	国内外の大会・学会を盛岡及び岩手県内に誘致し、成功に導くことにより地域経済の活性化に貢献する。	1. 各種誘致商談会へ盛岡ブースを出展するなどしコンベンション主催者及び旅行者等へ誘致活動を行う事業。 2. 観光パンフレットの提供、サポーター派遣等の大会支援、これらを展開することにより誘致と大会成功につなげる事業。 指標：①MICE 誘致商談件数 ②コンベンションの支援件数 ③コンベンションの参加者数								
重点施策【B】			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値	
		指標① (件)	73	7	7	28			90	
		指標② (件)	89	13	15	55			120	
		指標③ (人)	52,092	1,730	5,459	30,978			75,000	
(9) 企画開発情報収集事業	コンベンション開催調査を実施し、データベース化する。また、各種会議、研修会等において誘致・支援に必要な情報収集を行い、新たな誘致活動に活用するほか、郷土の特色を活かした企画提案に結びつける。	地元大学や各種団体の大会・学会主催者に関するアンケートを行うとともに、個別訪問による情報収集を強化し、データベース化して誘致、支援に活用する。また、全国、東北規模で行われる各種連絡会議等に参加して情報収集し、地元のおもてなしメニュー(ユニークプログラム)を企画開発する事業。 指標：①情報収集活動回数								
重点施策【B】			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値	
		指標① (回)	4	1	1	1			6	

(10) 盛岡 MICE 助成金交付事業  重点施策 【B】	助成金を交付することにより、より多くの MICE 開催を誘導を図る。	盛岡 MICE 助成金を交付し、地域活性化を図る事業。 指標：①MICE助成金交付件数 ②MICE助成金対象参加者人数 ③MICE助成金交付金額							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (件)	22	2	2	15			32
		指標① (人)	14,799	443	550	7,562			21,000
指標① (千円)	14,050	40	50	960			26,000		

【自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業（公益目的事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値
(11) 自主企画 事業の展開などによる 観光・文化の 振興事業  重点施策 【A】	盛岡市から管理指定を受けている観光文化施設において自主企画事業を展開し、盛岡広域の観光・文化に興味や関心をもっていただくことにより観光客の誘致及び交流人口の拡大を図る。	1. 盛岡市観光文化交流センター (1) 伝統芸能文化振興事業 地域に伝わる郷土芸能を固有の文化として継承させていくために、演舞機会と鑑賞機会を提供し、親しみを持って楽しんでいただく事業で、若年層等新規観客層の開拓を推進する。 (2) おでってシアター おでってホールの立地とステージ環境を効果的に活用し、地元アーティストの文化芸術活動を支援する文芸や音楽等のイベントを展開するとともに、ジャンルを超えた常連層の拡大を推進する。 2. もりおか啄木・賢治青春館 (1) 各種企画展 石川啄木や宮沢賢治をはじめ、地域に根差した人物、素材を活用し、絵画展や文学展等を企画開催し、通年で集客を図れるよう質の向上とリピーター確保を推進する。 (2) 各種コンサート 国重要文化財としてのブランドと良好な音響環境を持った建物の特性を活かし、弦楽器を主体としたコンサートを開催することにより、親近感のある場所として集客向上を推進する。 3. もりおか歴史文化館 当協会の観光アテンダントが「まちなか情報センター」及び「ミュージアムショップ」において、来館者に盛岡広域の観光、自然、各種観光施設を紹介するなど同館の受付機能を活用し広く観光案内を実施する。

		指標：①交流センター自主事業入場者数 ②青春館自主事業参加者/入場者数 ③もりおか歴史文化館入館者数						
		参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
	指標① (人)	901	998	156	216			900
	指標② (人)	20,172	7,650	9,201	16,790			20,000
	指標③ (人)	216,999	64,949	69,703	147,913			220,000

【施設の管理運営事業（収益事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値							
(12) 観光・文化 施設の管理運営 事業  重点施策 【A・D】	盛岡市から管理指定及び管理委託を受けている観光・文化施設において、観光案内など利用サービスの充実を図るとともに施設の適切な維持管理を行い利用者が快適に過ごせるようにする。	1. 盛岡市観光文化交流センター ・観光文化情報プラザにおいて、国内外の観光客や修学旅行生等に対し、盛岡広域の観光情報の提供やまち歩き観光の魅力を紹介するほか、観光相談・助言を行うなど総合的な観光案内を実施する。 ・ホール、ギャラリー、会議室等について、貸室業務を行うとともに利用者増につながるようPRを行う。 ・施設について、効率的で、かつ安全、衛生面に配慮した維持・管理を行う。 2. もりおか啄木・賢治青春館 ・物販コーナーにおいて、石川啄木・宮沢賢治に関する書籍や絵葉書、土産用観光グッズを販売する。 ・観光客等の懇談、休憩場所として喫茶コーナーを管理運営する。 ・施設について、効率的で、かつ安全、衛生面に配慮した維持・管理を行う。 3. 啄木新婚の家 ・市内唯一の武家屋敷という貴重な文化施設として、また市内観光ルートの名所の一つとして、盛岡市から管理受託（単年度）する啄木新婚の家について、適切な管理運営を行う。 指標：①交流センター入館者数 ②青春館入館者数 ③啄木新婚の家入館者数 ※啄木新婚の家管理受託事業は令和2年度にて終了したため、令和3年度以降の評価対象より除外。							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (人)	104,838	39,339	42,712	67,930			110,000
		指標② (人)	40,112	26,584	35,446	54,903			42,000
		指標③ (人)	15,744	6,473	—	—			17,000

## 【収益に関する事業（収益事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値							
(13) 収益に関する事業  重点施策 <b>【A・B・C・D】</b>	観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化と文化の向上に寄与するという目的を達成するため、収益事業による利益の一部を公益事業で使用するものである。	1 観光文化情報プラザにおける観光グッズ販売事業、プレイガイド事業、レンタサイクル事業 2 推薦の店標識貸与事業・接遇研修等 指標：①観光文化情報プラザ利用者数 ②接遇研修参加者数（延べ） ③推薦の店加盟会員数							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (人)	36,327	3,136	15,729	19,267			37,000
		指標② (人)	155	54	110	77			160
	指標③ (件)	115	111	108	109			150	

## 事業評価総括

### 1 総務部門

コロナ禍からの脱却傾向が進む中、事業運営において従前の形に近づけるべく観光需要等の状況を見極めつつ展開した。併せて経済情勢の好転に期待し、減額措置を続けてきた賛助会員会費額を通常に戻すことで一定額の収入を確保した。また、世界的にSDGs（持続可能な開発目標）が推進される中、賛助会員を対象としたセミナーのテーマに取り上げ、識者の講義とワークショップを実施し、相互理解を深めながら盛岡のおもてなし文化の向上を図った。組織運営においては雇用の安定と充実を見据えながら、キャリアアップを目指す研修等への職員参加を積極的に促し、組織力強化を目指した。

### 2 企画部門

指定管理施設における貸館部門は、消毒・換気など安心安全利用に努め、政府のコロナ感染予防対策が緩和されると、利用率は徐々に回復傾向にあったもののコロナ以前の6～7割程度の実績であった。自主事業として主催した舞台公演では来場者の安全に配慮し、密回避のために規模を縮小して開催した。そのため、有料催事では収入減となった。一方で、盛岡市内の恒例行事が規模縮小ながら再開されると、街中に賑わいが戻り、観光施設部門では、商品を企画展や季節毎に変える等販売促進を図った喫茶運営・物販部門では売り上げを伸ばした。また、企画展示では、地元で親しみのある作家等の芸術文化作品を県外や海外からの観光客へも発信することで市民・県民や観光客の来館があり、コロナ禍の低迷からの入館者数増に繋がった。

### 3 観光部門

新型コロナウイルス感染症感染については収束したとは言えない中、令和4年度においても諸事業の中止や規模縮小もしくは事業内容を転換した形での執行となった。3年ぶりの企画開催となった市民観光ボランティア「盛岡ふるさとガイド」を活用したチャグチャグ馬コてくてくツアーは、募集定員枠を完売し好評を得た。盛岡ふるさとガイド事業においては、コロナ禍以前の依頼数には及ばないものの、ニューヨークタイムズ「2023年行くべき世界の52ヵ所」に盛岡が選出されたことを受け、3月の依頼が急増、令和2年・3年と比較し、なだらかな回復傾向が見られた。修学旅行体験学習受入れにかかる誘致活動は、オンライン等を含め活動回数が増、まつり行事振興事業においては、「つなぎでつなぐ盛岡さんさ踊り」がほぼ毎日の開催となったことから、盛岡さんさ踊り振興協議会加盟している伝統さんさ踊り団体の派遣回数も連動して伸びた。

### 4 コンベンション部門

令和4年度はMICE助成金申請（18件）だった。しかし、まだ、年度前半では新型コロナウイルス感染拡大防止の為、学会等をオンラインでの開催にした学会があり、助成金支援は15件になった。（条件があわず不交付となった学会1件）学会内容としては現地開催となった学会でも当初申請時より参加人数が減少した学会が多かった。結果としてコンベンション支援件数がMICE助成金支援を含めて55件となった。

盛岡広域フィルムコミッションの相談・支援については、新型コロナウイルス感染防止の為、前半は少なかったが、後半になってテレビ・CM等は対前年度より増加した。映画についてはあまり伸びず対前年度より3件減少した。